

2009年9月28日

報道関係各位

㈱大塚製薬工場 世界初、5種類の微量元素配合
高カロリー輸液用 糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン・微量元素液

エルネオパ®1号輸液 エルネオパ®2号輸液

9月28日 新発売

株式会社大塚製薬工場（本社：徳島県鳴門市、代表取締役社長：大塚一郎）は、世界で初めて5種類の微量元素を配合した高カロリー輸液用 糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン・微量元素液「エルネオパ®1号輸液」1000mL、1500mL 製剤と「エルネオパ®2号輸液」1000mL、1500mL 製剤を9月28日より発売します。なお、「エルネオパ®1号輸液」「エルネオパ®2号輸液」の2000mL 製剤は11月30日発売予定です。

「エルネオパ®1号輸液」「エルネオパ®2号輸液」は、高カロリー輸液療法に必要なブドウ糖、電解質、アミノ酸、ビタミンおよび微量元素（亜鉛、鉄、銅、マンガン、ヨウ素）をバランスよく配合しており、各栄養素の必要量を適切に投与することができます。

また、ダブルバッグの上室内に小室V（ビタミン液）、小室T（微量元素液）を設けた、4室からなる世界初のキット製剤（クワッドバッグ）であり、ワンプッシュで混合調製を瞬時かつ無菌的に行うことができる画期的な製剤です。

ブドウ糖、電解質、アミノ酸、ビタミンおよび微量元素を一剤化することで、微量元素やビタミンの投与忘れ、混合調製時の衛生管理などリスクの軽減に貢献できることに加え、簡易なキット製剤により、微量元素やビタミンの混合調製を行う必要がないため、入院治療だけでなく在宅中心静脈栄養にも適しています。

特にガスバリア性に優れたバッグを新たに開発し、混合後のビタミン類の安定化を図りました。2000mL 製剤は1日1袋での投与が可能であり、1000mL、1500mL 製剤を取り揃えることで、500mL 刻みでの投与量の調整が可能となっています。

医療や介護の分野では、症状回復や生活の自立を助けるためにも、よりよい栄養状態を保つことに加え、医療従事者や介護者の負担を軽減することもますます重要になっています。株式会社大塚製薬工場は、適正な栄養管理に役立つ情報や製品を継続的に提供することで、輸液のリーディングカンパニーとして、臨床栄養の領域における世界の人々のベストパートナーになるべく努力してまいります。

製品概要

製品名	「エルネオパ®1号輸液」「エルネオパ®2号輸液」
種類	高カロリー輸液用 糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン・微量元素液
包装	エルネオパ1号輸液：1000mL袋、1500mL袋、2000mL袋* エルネオパ2号輸液：1000mL袋、1500mL袋、2000mL袋*
効能・効果	経口・経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分、電解質、カロリー、アミノ酸、ビタミン、亜鉛、鉄、銅、マンガン、およびヨウ素の補給
用法・用量	<p>エルネオパ1号輸液</p> <p>本剤は経中心静脈栄養法の開始時で、耐糖能が不明の場合や耐糖能が低下している場合の開始液として、あるいは侵襲時等で耐糖能が低下しており、ブドウ糖を制限する必要がある場合の維持液として用いる。</p> <p>用時に上下2室の隔壁と上室内にある黄褐色及び赤褐色の小室を同時に開通し十分に混合して、開始液又は維持液とする。</p> <p>通常、成人には1日2000mLの開始液又は維持液を24時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。</p> <p>エルネオパ2号輸液</p> <p>本剤は経中心静脈栄養法の維持液として用いる。</p> <p>用時に上下2室の隔壁と上室内にある黄褐色及び赤褐色の小室を同時に開通し十分に混合して、維持液とする。</p> <p>通常、成人には1日2000mLの維持液を24時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。</p> <p>《用法・用量に関連する使用上の注意》</p> <p>黄疸がある場合又は本剤投与中にマンガンの全血中濃度の上昇が認められた場合及び銅などの微量元素の血漿中濃度の上昇が認められた場合には、投与を中止し、他の高カロリー輸液療法を考慮すること。</p>
貯法	遮光・室温保存
承認年月日	2009年3月31日
薬価収載日	2009年9月18日
薬価	エルネオパ1号輸液 1000mL袋(1,672円)、1500mL袋(2,119円)、2000mL袋*(2,565円) エルネオパ2号輸液 1000mL袋(1,801円)、1500mL袋(2,293円)、2000mL袋*(2,779円)
製造販売元	株式会社 大塚製薬工場
販売提携	大塚製薬株式会社

* 2000mLは11月30日発売予定

会社概要

株式会社 大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969 年 10 月 7 日
資 本 金 : 8,000 万円
代 表 者 : 代表取締役社長 大塚 一郎(おおつか いちろう)
本 社 所 在 地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従 業 員 数 : 2,467 名(2009 年 3 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 医薬品・食料品の製造、製造販売、販売

大塚製薬株式会社 (Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.)

設 立 : 1964 年 8 月 10 日
資 本 金 : 200 億円
代 表 者 : 代表取締役社長 岩本 太郎(いわもと たろう)
本 社 所 在 地 : 〒101-8535 東京都千代田区神田司町 2 丁目 9 番地
従 業 員 数 : 5,592 名(2009 年 3 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 医薬品・臨床検査・医療機器・食料品・化粧品の製造、製造販売、販売、輸出並びに輸入

この件に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

大塚ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

〒108-8241 東京都港区港南 2-16-4

品川グランドセントラルタワー

TEL:03-6361-7411(直) FAX:03-6717-1409

URL : <http://www.otsuka.com/jp/>

この製品に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

大塚製薬株式会社 医薬情報センター

TEL: 0120-189-840